田原市立野田中学校

＜２月１日＞

特別支援教育の指導者として、小林明夫先生（元小学校教諭）をお招きして、「お好み焼きづくり」の模範授業をしていただきました。この日は、特別支援学級の生徒たちが作ったキャベツを材料にして、調理師免許をおもちの小林明夫先生が、一人一人の手を取ってキャベツの切り方から小麦粉の混ぜ方、焼き方などを教えてくださいました。とても美味しいお好み焼きができました。また、小林先生からは、国語を中心にして以下のような指導法も教えていただきました。

・生徒たちのイメージを引き出して学習につなげていくと生徒たちの学習意欲が増す。

・苦手意識を崩すためには、「間違えてもいいんだ」という環境づくりに積極的に取り組むべきである。

・川柳の学習をしている期間は、繰り返し学習させるため、日を決めて日常生活の中で川柳作りをさせると良い。

・繰り返すことで、頭の中を整理しながら言葉の仕組みを覚えていく。

・辞書を上手に使えるようになると、自主的な学習活動ができるようになり、学習意欲も高まる。

この日の小林先生の具体的な指導のおかげで、教師が具体的な手立てを考え、授業の効果をあげようとする姿勢が身についてきました。